

小松原英太郎 くまつら へいたろう 新聞記者、官僚。嘉永五年二月十六日備前國生  
れ、大正八年十一月二十五日歿（八五二—一九一九）。號半山。慶應義塾小  
學<sup>せうがく</sup>。『朝野新聞』、『東京曙新聞』、『評論新聞』、『山陽新報』  
等の記者を経、明治十二年外務省入省。爾來司法文官、内務次官、  
文相、貴族院議員、樞密顧問官等歴任。『わん』の副<sup>かへ</sup>の二十二年大阪毎日新  
聞社社長となる。



譯著<sup>ト、ゼンダク</sup>、李全得著『日本開進論』全五冊（譯・關新吾校、明治十二年  
一月十五日版權允許・二月例言、大阪・成允堂藏梓）、『吉田松陰』  
（合著・帝國教育會編、明治四十二年十一月二十一日弘道館）等。